

- この2学期は本校の長い歴史に照らしても、記念すべき学期となる
 - ・知ってのとおり、現在進行中の工事が10月末には完了し、校庭が全国的に見ても類のない素晴らしい環境として整備される
 - ・これは、本校の大先輩である大塚商会創業者の大塚実先輩のご厚意によるものである
 - ・すでに、記念館の耐震工事で1億5千万円の寄付をいただいたが、今回の校庭整備には、2億7千万円の御寄付をいただいた
 - ・大塚先輩の本校に寄せる思い、後輩に対する期待の大きさというものを我々は肝に銘じなければならない
- 同窓会では、大塚先輩の偉業をたたえて、先輩の銅像を校庭に建てることとして、校庭工事に関連した周辺整備と併せて、現在寄付を募っている最中でもある
 - ・これも、同窓会の方々の本校や諸君に対する期待の表れであって、しっかり受け止めると同時に、あらためて本校の持つ伝統の力に誇りも感じている
- 校舎の西端から校庭全体を見渡せる場所に建てるこの銅像には次のような文言を刻む
 - 「この先輩の大志に報いるに万里を渡る風の如く文武に精励し我等が学び舎とこしえに意気高らかなることを念じてこの像を建てる」
- ・文中「大志」とは、大塚先輩が諸君に送った色紙からとった言葉である。
- 一方、校庭の南側には知ってのとおり野沢一郎先輩の銅像が教室を見渡すように建っている
 - ・この先輩が現在の巴コーポレーションの創業者であることは、諸君も知ってのとおりである。現在の本郷中学校近くの自宅から本校まで徒歩で通学していたこと、そのことを引用して「苦勞が人を育てる」ということを諸君に示したことは再三にわたる
 - ・本校のみならず県全体の高校生を支援する野沢一郎育英会の創立者でもあり、また、本校にも大きな支援を頂いた野沢先輩の銅像は、諸君の学びを見守るように校庭の南側に建っている。この像には、建立当時の16代弓田校長により次のような文言が刻まれている
 - 「この先輩の後輩たるにふさわしい人物が本校に学ぶ生徒諸君の中から輩出することを念願してこの胸像を建てる」
- 野沢一郎像は南から北面して諸君の教室での姿を見守り、大塚実像は北から南を向いて、諸君のグラウンドでの活躍を見守る。2人の先輩が見守る中、諸君には大いに発奮してほしい期待する
- そのため、先の文言について、この後の各教室に写しを掲示することとしている。暗記するくらいによく読み、本校生としての誇りを高め、自らの志を鍛える糧としてほしい。